



kintoneの導入・活用サポート



サービス概要資料

※2025年10月1日時点

株式会社MOVED  
エデュケーションカレッジ事業部



# INDEX

1. ハタトレとは
2. 各プランの料金
3. サービスの構成例
4. ハタトレの導入実績、事例
5. 基本的なハタトレの流れ
6. 参考資料:業務改善で大切なこと



ハタトレとは

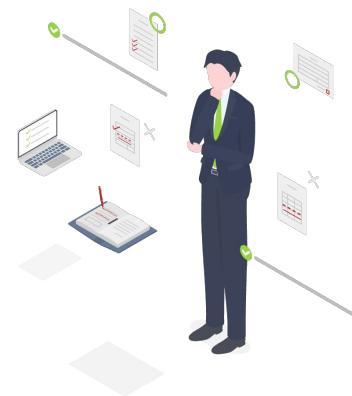


# こんなお困りごとはありませんか

kintone導入を考えている方



転記が多く  
手間がかかっている



随所に業務の属人化が  
発生している



Excelでのデータ管理に  
限界が来ている

# こんなお困りごとはありませんか

既にkintoneは導入している方



導入当初から進化がなく、  
思ったほど活用できていない

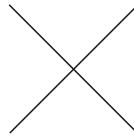


担当者が退職してしまい  
管理者がいなくなったり ...



個別開発が入っているため  
改修しようにも手を出せない

# ハタトレで”課題に刺さる支援”を提供します



人を強化する

= kintoneスキルの向上  
業務改善スキルの向上

システムを強化する

= kintoneアプリの構築・改版  
プラグインや連携サービスの設定  
外部サービスとの連携設定

強く柔軟な人材&システム

→働きやすい環境の獲得  
→デジタルトランスフォーム  
→時代の変化に強い組織

# フェーズに応じた支援



## 導入検討～設計期

- ・kintoneを学ぶ
- ・業務フローを見直す
- ・全体構成設計



## 環境構築期

- ・kintoneアプリ設計
- ・具体的なアプリ構築
- ・運用体制の確認



## 運用初期

- ・組織への浸透
- ・改善要望の集約／整頓
- ・設計の定期的な見直し



## 運用中～長期

- ・kintone管理者の複数名育成
- ・各チームにアプリを作成してもらう
- ・Fit To Standardの浸透



## 運用と活用の内製化

支援の卒業

- kintone基礎研修の実施
- 全体構成設計の支援
- ツール選定の支援

- アプリ構築作業
- アプリ作成方法の指南
- 運用体制整備の支援

- アプリの改修／増築
- システムの改善提案
- 現場要望の整理整頓

- kintone基礎／応用研修の実施
- 長期目線での管理者育成
- kintone活用拡大の計画立案支援

# kintoneプロフェッショナル体制

構築、運用支援のハタトレチーム



kintone研修のクラウドユニバーシティチーム



株式会社MOVEDは  
サイボウズオフィシャルパートナーとして  
4年連続で2つ星を獲得しています

## 各プランの料金



# 構築、運用支援に係る伴走プラン

※金額は税別

	短期プラン	標準プラン	年間プラン
契約期間	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
基本費用	600,000円	900,000円	1,500,000円
WEB打合せ時間枠	12時間	24時間	60時間
作業時間枠	15時間	30時間	60時間

## 全プランに含まれること

- ・MOVEDによる新規アプリ構築作業、既存アプリの修正作業
- ・構成や設計、あるいは日常業務のフローに対する具体的な改善提案
- ・お客様によるkintone設計や構築作業、成果物に対するアドバイス※テキストサポートは回数無制限
- ・学習支援①:kintone活用勉強会の開催(打ち合わせ時間枠を利用)
- ・学習支援②:クラウドユニバーシティ受講時の不明点に対するフォローアップ

# 伴走プラン選択の目安

	短期プラン	標準プラン	年間プラン
kintoneを導入し業務フローを整えたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
既存のシステムをkintoneに移行したい	—	<input type="radio"/>	
プラグインや連携サービスを導入したい		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外部サービスとkintoneを連携させたい	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
既存のkintoneを整備してほしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
個別開発をノーコードツールに置き換えたい	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
kintone管理担当者を育成したい	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
kintone活用の社内浸透を促進したい	—	<input type="radio"/>	

※1:いずれも目安です。要件によっては最適なプランが変わる場合もあるため、詳細はお問い合わせください。

※2:いずれのプランでも作業時間枠を超える作業についてはお客様にて行っていただくことになります。 MOVEDによる本格的な構築はオプション対応となります。

# 構築オプション

MOVEDによる本格的な構築が発生する場合は  
こちらのオプションが適用されます

## オプション料金

限られた業務に対して標準機能でスタートする  
**MOVEDオプション** 600,000円

---

チーム内の小規模連携を形にする  
**MOVED-erオプション** 900,000円

---

複数機能を持たせる、あるいは部署間連携を実現する  
**MOVED-estオプション** 1,500,000円 ~

※要件の規模によっては MOVED-estオプションを複数本適用する場合もあります。

詳細は無料相談でお話を伺ってからの見積提示となります。

# 研修プランの一例／クラウドユニバーシティ

	研修料金	備考
kintone基本クラスe-learning	100,000円 / 1名	1名あたりの料金
kintone基本クラス企業訪問研修	900,000円 / 10名以下コース	10名までの総額
kintone連携 krewシリーズ単品選択プラン	20,000円 / 1名	1名あたりの料金
kintone連携 krewシリーズ企業研修	400,000円 / 10名以下コース	10名までの総額
kintone連携 gusuku Customine	100,000円 / 1名	1名あたりの料金
kintone連携 gusuku Customine企業研修	600,000円 / 10名以下コース	10名までの総額

※クラウドユニバーシティは他にもたくさんのコース、複数の受講手段がございます。  
要件によって最適なご提案をいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

※クラウドユニバーシティについて詳細はこれらの資料に概要や料金表など詳細がございます。



クラウドツールに  
「学び」を求めるすべての人へ。



Cloud University

のご案内

- P.4 クラウドユニバーシティとは
- P.13 キャンパス紹介
- P.19 導入事例
- P.24 受講の流れ



# サービスの構成例



## 構成例 1／既存 kintone の運用支援

工程	担当	適用	内容
----	----	----	----

要件定義  
構成設計

済 or 自社

-

-

▼  
構築作業

済 or 自社

-

-

▼  
運用支援

 MOVEDハタトレ  
標準プラン

- ・既存 kintone の運用保守、改善提案
- ・新規アプリの追加、既存アプリの改修※提供工数内の対応)



既に運用中の kintone をさらに活用すべく改善提案などアドバイスによる支援を行います。

必要に応じて数あるプラグイン／連携サービスから最適な組み合わせを提案し、あるいは元の業務フロー整備の改善にも多様な視点からご提案をいたします。提供工数の中でアプリ改修や各種設定作業など、柔軟なご支援を提供します。

## 構成例2／kintone初期導入スマールスタート ※プラグインや連携サービスなし

工程	担当	適用	内容
要件定義 構成設計	<b>MOVED</b>	ハタトレ 短期プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務フロー／課題／要望／システム化要件の整理整頓</li> <li>・システム全体構成設計</li> </ul>
構築作業	<b>MOVED</b>	MOVED オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準機能で動作するkintoneアプリの構築、テスト</li> <li>・運用内製管理を想定した管理者向け教育</li> </ul>
運用支援	自社	—	<p>※ハタトレ短期プランの契約期間が 残っていれば運用支援も対応可能です</p>

現状に悩みや要望はあるが、何をどうkintoneアプリに起こせば良いか分からぬ場合の初期導入支援です。

まずは業務フローの整備から行い、課題や要望を整頓し地盤を固めてからアプリ構築を行います。

MOVEDオプションによる構築はスマールスタートを想定して標準機能で実装し、自社運用がしやすい形に仕上げます。



## 構成例3／kintoneアプリ構築と運用支援 ※プラグインや連携サービス あり

工程	担当	適用	内容
要件定義 構成設計	済 or 自社	-	-
▼ 構築作業	 MOVED	MOVED-er オプション	<ul style="list-style-type: none"><li>・kintoneアプリ構築、プラグイン/連携サービス設定、テスト</li><li>・運用内製管理を想定した管理者向け教育</li></ul>
▼ 運用支援	 MOVED	ハタトレ 短期プラン	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存kintoneの運用保守、改善提案</li><li>・新規アプリの追加、既存アプリの改修※提供工数内の対応)</li></ul>

課題や要望の集約、業務の将来像はある程度整っており、機能のイメージもある場合MOVEDは具体的なアプリ設計と構築からご支援します。いくつかのプラグインや連携サービス活用も設計し、小規模での活用を形にしつつ本稼働後月間の運用支援もMOVEDが担います。

## 構成例4／既存システムからkintoneへの移行と本稼働後の運用保守

工程	担当	適用	内容
要件定義 構成設計		ハタトレ 短期プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務フロー／課題／要望／システム化要件の整理整頓</li> <li>・必要なツール選定／システム全体構成設計</li> </ul>
構築作業		MOVED-est オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・kintoneアプリ構築、プラグイン／連携サービス設定、テスト</li> <li>・運用内製管理を想定した管理者向け教育</li> </ul>
運用支援		ハタトレ 標準プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存kintoneの運用保守、改善提案</li> <li>・新規アプリ追加、既存アプリ改修※提供工数内の対応)</li> <li>・利用者や管理者へのkintone研修実施</li> </ul>

既存システムからの移行は構築前準備が非常に重要です。単なる移行ではなく業務を便利にするための構成設計を行います。必要充分なプラグイン／連携サービスを添え、他システム連携もMOVEDが設定いたします。本稼働後はおヶ月間の運用支援を担い、その間にご担当者さまのkintoneスキルアップも図りつつ、近い将来の内製管理実現に向けて徹底的に伴走いたします。

※要件の規模によっては MOVED-estオプションを複数本適用する場合もあります。

## ハタトレの導入実績、事例



※クラウドユニバーシティの導入実績、事例については別紙クラウドユニバーシティ概要資料をご覧ください

# ハタトレ対応実績

発電事業・環境事業

民放配信業

食品流通業

医療介護支援事業

イベント運営事業

病院、介護施設

ビルメンテナンス業

宿泊施設運営業

広告代理業

大学

染色加工業

社労士事務所

食品生産業

自治体、公共

教育・研修事業

他にも様々ございます  
お気軽にお問い合わせください

リユース事業

NPO法人

不動産／賃貸・売買

システム開発業

商業施設開発管理業

人材派遣業

小売流通業

鉄骨製作加工業

産廃収集運搬業



# 事例紹介 1

事例の詳細はお問い合わせください



## 発電事業・環境事業

職員規模:100-150名

解決したお困りごと:

- ・Excelでの案件管理が限界を迎えている
- ・会社に戻らないとデータ更新ができない
- ・改善の構想はあるがどう形にすれば良いか不明

### 構築したアプリ

各種マスタ、案件管理、部署別工程管理など

### 導入プラグイン／連携サービス

レポート、gusukuCustomine、KOUTEIなど

### プロジェクトの特徴

関係者が多部署に渡りそれぞれの要望が多数につき  
最初の要件定義と活用勉強会に多くの時間を割いた。

## リユース事業

職員規模:100-150名

解決したお困りごと:

- ・既存システムに柔軟性がなく現状の業務に合わなくなっている。仕様的に自分で改修もできない。
- ・kintone初期構築は依頼したいが、管理は内製したい。

### 構築したアプリ

各種マスタ、案件管理、在庫管理、訪問予定管理など

### 導入プラグイン／連携サービス

gusukuCustomine、krewData、プリントクリエイター

### プロジェクトの特徴

業務フローの見直しと要望の要否の議論を徹底的に行い、  
運用内製を見据えて本当に必要な機能に絞って実装した。

# 事例紹介 2

事例の詳細はお問い合わせください



## 人材派遣業

職員規模:50名未満

解決したお困りごと:

- ・経歴書など書面発行が大量かつ高頻度で転記が大変
- ・利用者自身で情報を更新できるマイページが必要
- ・ITツール多数なのに連携がないため逆に不便に

### 構築したアプリ

各種マスタ、会員管理、売上管理、スケジュール管理など

### 導入プラグイン／連携サービス

プリントクリエイター、kMailer、kViewer、

フォームブリッジ、krewSheet、krewDataなど

### プロジェクトの特徴

大量データ処理を最小限の手間で回せる構成とした

## 食品生産業

職員規模:50名未満

解決したお困りごと:

- ・会計ソフトとkintoneを連携させたいが作業時間がない
- ・更なる要望を実装する時にどの連携サービスや  
プラグインにすれば良いか、多すぎて分からず

### 構築したアプリ

各種マスタ、請求管理アプリ

### 導入プラグイン／連携サービス

マネーフォワードクラウドfor kintone

### プロジェクトの特徴

連携設定後の運用は内製できるよう、あるいはツール選定  
のポイントについて複数回の勉強会を実施した。

# 事例紹介 3

事例の詳細はお問い合わせください



## 食品流通業

職員規模:50-100名

解決したお困りごと:

他社構築時、kintoneの個別開発が多く入った。自社担当者の退職に伴い改修できぬまま数年が経過してしまった。  
実業務との乖離が多いためkintoneをアップデートしたい。

### 実施内容

既存アプリの修正、要望の再収集と要件定義を実施。  
個別開発のjsを現状の業務と照会し要否選別、どうしても必要なものは全てgusukuCustomineに置換し個別開発のJavaScriptは完全に無くしてノーコード環境にすることに成功した。また同時に新たな管理者育成にも対応。

## 商業施設開発管理業

職員規模:50名未満

解決したお困りごと:

経理業務でkintoneと外部システムを連携したいが何をどうすれば良いか分からず、結局手作業での転記が常態化してしまっている

### 構築したアプリ

各種マスタ、請求管理アプリ

### 導入プラグイン／連携サービス

freee for kintone、gusukuCustomine

### プロジェクトの特徴

営業部門と経理部門の要望を集約し双方に適した操作権限や通知設定を実装することで外部連携と転記削減を実現

# 事例紹介4

事例の詳細はお問い合わせください



## 人材開発業

職員規模:50-100名

解決したお困りごと:

kintoneの仕様はある程度理解しており構築技術もあるが、実務改善に繋がる有効な設計を考える時間がないため、幅広い視点でサポートしてほしい

### 実施内容

kintoneスレッド機能でご要望を五月雨にいただき集約した上で1週間に1度の定例MTGを3ヶ月に渡り実施。画面共有で環境を両社にて確認しながら具体的なアドバイスを細部に渡って提供した。お客様から「調べる手間なく最適な提案やレビューを即時でいただけるのが本当にありがたい」とのご感想をいただいた。

## 教育・研修事業

職員規模:50名未満

解決したお困りごと:

現行ツールに合わせた業務フローになってしまっており、特に状態関係なく全員に通知が飛ぶため情報の錯綜が業務を複雑化させている。システム管理者不在も大きな課題

### 構築したアプリ

各種マスタ、案件管理、講師依頼管理、研修作成依頼など  
導入プラグイン／連携サービス

プリントクリエイター、gusukuCustomineなど

### プロジェクトの特徴

Fit To Standardに基づき、業務フローのスリム化を徹底してから環境構築。運用保守も長きに渡り継続している。

# 事例紹介5

事例の詳細はお問い合わせください



## 不動産管理業

職員規模:50名未満

### 解決したお困りごと:

現行システムは保守切れによる利用期限が迫っている。  
使えなくなると業務が継続できなくなるため、急ぎでシステム移行をして欲しい。kintoneは導入済みで少々活用中。

### 構築したアプリ

各種マスタ、案件管理、請求管理、原価管理など

### 導入プラグイン／連携サービス

gusukuCustomine、レポート

### プロジェクトの特徴

超短納期につき業務ヒアリング／要件定義／詳細設計／環境構築を可能な限り同時進行で対応。教育で訪問対応も。

## 医療介護支援事業

職員規模:200-500名

### 解決したお困りごと:

施設でのスケジュールや利用者様の状況を管理するのがホワイトボードを中心とした完全なアナログなため、今後の施設増加予定を考慮するとデジタル化は必須

### 構築したアプリ

各種マスタ、案件管理、医療機関訪問管理など

### 導入プラグイン／連携サービス

krewData、カレンダーPLUS、Crenaプラグインパックなど

### プロジェクトの特徴

将来の施設展開を考慮に入れたデータベース構造にしつつ現場スタッフで管理できる設計でスマートスタートとした

## 基本的なハタトレの流れ





お悩みを伺い、kintoneを中心としたシステム構成と見積をご提案します。  
必要に応じて二度目の面談で提案内容の詳細をご説明差し上げることも可能です。

契約後の最初の打ち合わせで「システムの目標」と「人の目標」を設定します。  
どちらが欠けても業務改善の自立は成り立ちません。

お客様作業に対するアドバイスを細かく具体的に行います。私たちは守破離のアプローチを重視しており、契約プランによってはMOVED担当者が作業を行い、道筋を提示します。

アプリの本稼働はゴールではなくスタートです。いつを目標に誰が何を達成するのか、  
「kintoneアプリ構築の目標」から「業務改善全体を通しての目標」に切り替えて再確認を行います。

kintoneに完成はなく、現場業務とともに変化し続けます。時代に合わせた機能選択、人に合わせた運用設計、  
kintone管理の属人化に陥らないための体制維持、幅広い視点でMOVEDが支援いたします。

改善サイクルの経験を積めば自信もついてきます。設定した目標を達成したときMOVEDの支援はもう不要です。以降はkintone活用の内製運用が始まりますが、もう心配はありません。



# 初回相談／1時間

初回の相談からkintoneに詳しいメンバーがお話を伺います。

具体的には以下のようなことをヒアリングいたします。

- 一番の悩みごとは何か
- 具体的に実現したいことは何か
- 業務手順は明確か、属人的か、適切に運用されているか
- 現在の業務システムを適切に使いこなせているか
- どのような立場、役割としてkintone活用を進めるか
- いつまでに達成したいのか、なぜその期限なのか
- お客様の企業文化や社内の雰囲気について  
→人間関係、上長との関係、日々のオフィスの様子など

一見、関係なさそうな言葉が並んでいるように見えるでしょうか？

実はこのような事柄が業務改善やkintoneの活用に強い影響を与えているのです。とはいえ、難しく考えずにお話いただいて構いません。



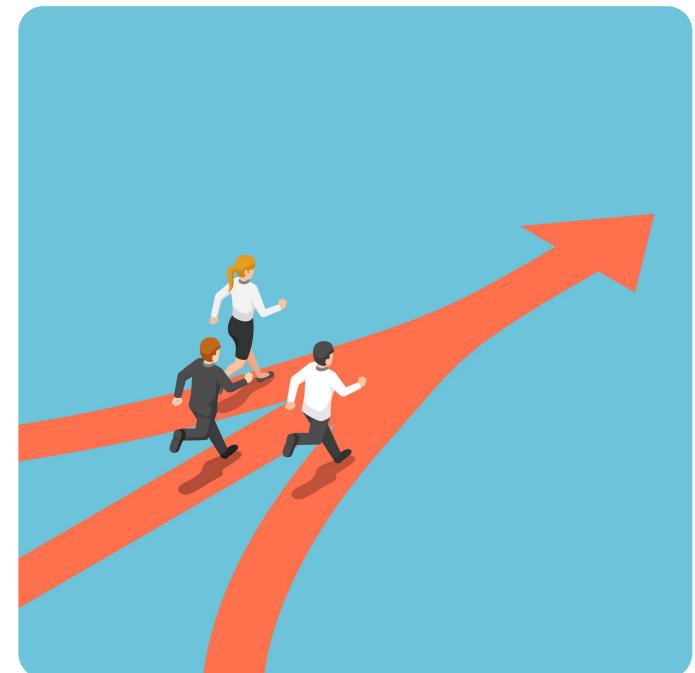
# 初回相談後、二度目の面談～プロジェクト開始まで

初回相談後、MOVEDから提案書と概算の見積書を提示します。これを基に二度目の面談を実施し、システム構成や支援内容を具体的に解説します。MOVEDではこの二度目の面談までを無料で実施しています。

MOVEDに任せるもよし、自分たちで取り組むと決断するもよし、他社と比較するもよし。最も重要なことは**ご自身がどうなりたいか**です。その理想に向かうための道を誰と歩くことが最適なのかという決断は重要なものとなるため、しっかりと見極めないといけません。

MOVEDが伴走することになれば、最初に**システムの目標**と**人の目標**を設定します。どんなシステムにしたいか、それを使う人たちはどういう人材であってほしいか。MOVEDは**kintone活用を通じた組織全体の人材育成**にも取り組みます。

さあ、働き方を変える大きな物語のスタートです。



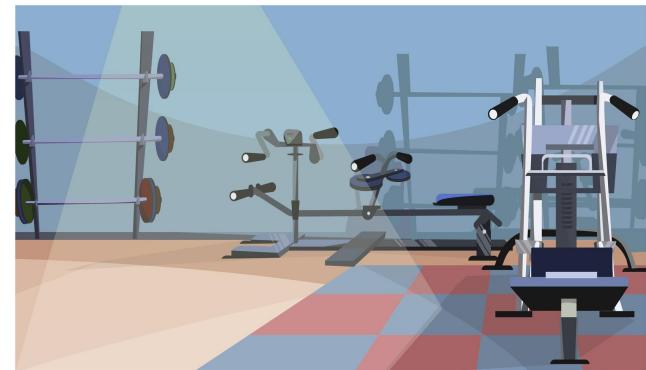
# 構築から本稼働まで

構築期間は、お客様のkintoneスキルをアップさせる非常に重要な時期です。まずは要件定義／構成設計／詳細設計を行い、次に構築／テスト／修正を行います。ここにお客様も参画していただくことで、本稼働後の運用管理をスタートダッシュに導きます。

特にテストと修正は短期間に複数回繰り返し、可能なところから本番稼働させていく**スマールスタート**を強く推奨しています。

業務改善やITツール活用にゴールや正解はありません。そのため「現在の最適であろう環境」を実現＆利用しつつ、日常業務／対外環境／社会情勢などそれぞれの変化に合わせて進化を続ける必要があります。

構築期間はスキルアップ期間です。この時点でkintoneの操作や管理に自信がなくても大丈夫です。kintoneのプロが丁寧に説明し、必ずご自身で運用できるところまでレベルアップさせます。



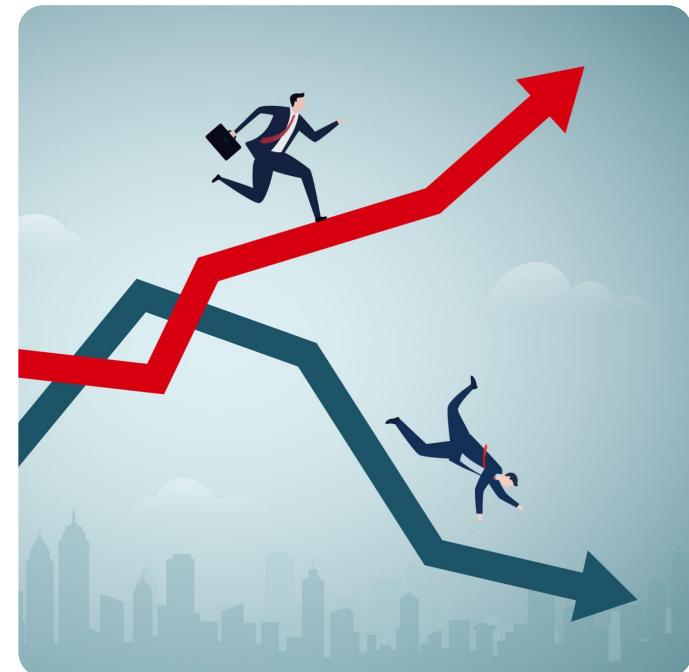
# 改善のサイクル化、支援の卒業

kintone活用はアプリが本稼働してからが本当のスタートです。またMOVEDの支援の本質は **kintone活用を中心とした業務改善プロセスを内製で回し続ける組織に近づける** ことです。

「理想の実現には業務のここを変えたら良いのでは？こういう取り組みをすればより働きやすくなるのでは？よし、やってみよう！」この考え方と行動が湧き出るようになれば、もうMOVEDの支援は不要です。

繰り返しになりますが、業務改善やITツール活用にゴールや正解はありません。常に新しい技術や考え方方が生まれてきます。どんな時でも柔軟な姿勢でシステムと向き合うことができる、それはすなわち柔軟な働き方を実現できる組織であり、時代の変化に左右されることなく伸び伸びと泳げる人材の集まりとなっていることでしょう

さあ、kintoneを通じて柔軟な組織づくりを目指しましょう！



## 参考資料:業務改善で大切なこと



# なぜDXや働き方改革は失敗するのか

お客さまは誰もが”日常業務のプロ”といえます。

しかし日常業務のプロだからこそ日々の業務に追われ、業務を妨げる諸問題に対して「対応する時間がない」という声はよく耳にします。

アナログなやり方が続く仕事、特定の誰かに依存している業務、減らない紙の書類、イマイチ使いこなせていないITシステム、迫るシステム更新料、理解できない新しい技術、進まない働き方改革、定着しない人材、一向に良くならない労働環境…

最も重大な問題は三つ、我々はこれを**失敗の三過剰**と呼びます。

一つは、最新のデジタル技術や新しいITサービスの**システムに期待し過ぎる**という問題。二つ目は、日常で**業務改善しなさ過ぎ**という問題。そして最後が、何でも**すぐ結果をもとめ過ぎ**という問題です。

この失敗の三過剰について、ひとつずつ見ていきましょう。



## 三過剰その① システムに期待し 過ぎる

かつて、日常業務で使うITシステムの多くは自社向けに個別開発されたものを使い、現場ユーザという立場の方々に対してシステムの知識が求められることはそれほどありませんでした。

現代においてこの関係性は大きく変化しています。過剰な個別開発が決して推奨されないアプローチとなり、ノーコードローコードが主流となった今、「ユーザはシステムの理解がなくても良い」という考えは通用しなくなったと言っても過言ではありません。

システムはハサミやペンと同じく日常利用する重要な道具です。道具は正しく理解して使う場合とそうでない場合で、獲得する成果は変わります。システムという道具を正しく理解していないから過剰に期待してしまうのです。

システムに使われる人にならないよう、適切な関係を築きましょう。



## 三過剰その② 業務改善しなさ 過ぎる

状況の変化は年々加速おり、次々と新しい技術が実用化される時代です。

現代において変化しないことは、もはや衰退と同じです。

古いシステムと慣習が残る業務プロセスを振り返り、最適化や効率化して生産性を上げる必要があるのと同時に次の変化への余白も残す。未完成でも進むことは、完成させてから進み出すことよりもずっと高い価値があります。

そもそも改善活動は一度きりの大仕事ではなく完成もしません。日常業務は変わり続けるためです。日々の小さな改善を全員で日常的に行うことができれば、組織は硬直せずアップデートが常態化します。そういう企業こそが市場や株主、そして従業員、さらには顧客から求められる時代になっているのです。

時代に合った働き方、実現してみたいとは思いませんか？



## 三過剰その③ すぐ結果をもとめ 過ぎる

日常的にシステムを更新し、適切な運用を経て業務プロセスの見直しを行っていれば、働き方改革やDXという言葉に惑わされることはありません。そうでない場合に本当の問題は長い間変わらずにいたことなのです。長期間放置されてきた問題を解決しようとすれば、同じくらいの時間がかかるのは当たり前です。

働き方改革やDXという言葉は近年クローズアップされていますが、その本質は現代になって急に出現したものではありません。すぐそばにあった問題や課題がようやく目にみえる形になってきたと言えます。

大きな変化はまさに千里の道であり、大きな大きなエネルギーを要します。まずは手の届く範囲から小さい変化とその継続です。小さな一歩はやがて必ず大きな変化をもたらします。

チームとして、組織として一歩を踏み出す準備を始めましょう。



# 一番重要なのは、あなたの「どうなりたいか」

お客様から「こういうシステムがほしい」「こういう機能がほしい」という要求に  
対して、我々は「なぜそれが必要なのか？」「本当にほしいものは？」を伺い  
ます。本質的な課題特定のためです。表層課題をシステムに乗せるだけでは  
一部の個人が喜ぶに留まります。

「業務のプロ」であるお客様に、現行の業務プロセスを振り返っていただきつつ、最終的にどうなりたいのかという理想の言語化を行います。kintone活用  
のスタートはここから始まります。

理想と現実の認識がなければ何をすれば良いのか分からなくなり、個別要  
望を継ぎ接ぎした柔軟性に欠けるシステムになりがちです。

何のためにkintoneを導入するのでしょうか？

kintoneを導入した後に皆様はどうなっていたら嬉しいでしょうか？

正直な思いをお聞かせください。



# 現場経験のあるメンバーがそろっています

MOVEDのハタトレチームは、全員がkintone活用を中心とした業務改善の推進管理者としての現場経験を豊富に有しています。

つまり、お客さまから受けるお悩みは泥臭く乗り越えてきた経験があります。その経験を生かしてサイボウズのユーザーイベント「kintone hive」への登壇やユーザーコミュニティ「kintone Café」の運営などにも携わっている、本当の意味で経験豊富なメンバーばかり。

様々な現場経験やkintoneに対する深い知見があるからこそ、私たちはお客様が抱える悩みや業務プロセスのヒアリングに時間をかけます。これは**本質的な課題を特定するため**です。そしてその課題解決に効くアプリを構築したり、改善提案を出すことができるのです。

MOVEDの支援を受ければ、働き方改革やDX推進など、目的を確実に達成することができるでしょう。



株式会社MOVEDは  
サイボウズオフィシャルパートナーとして  
4年連続で2つ星を獲得しています

# ハタトレは、あなたの**理想の働き方**を 一緒に目指す**自立支援パートナー**です

現状にお悩みがあるなら、いつでもお気軽にご相談ください。  
経験豊富なトレーナーがあなたのお困りごとに寄り添います。



すべての人に、心を動かす “きっかけ”を



お問い合わせ : [contact@moved.co.jp](mailto:contact@moved.co.jp)

kintoneの導入なら

kintoneの研修なら

プレゼンのスキルアップなら

